



令和7年度(2025年度)第3号
 豊中市立北緑丘小学校
 令和7年(2025年)6月2日

つながる学校

- 自分で考え、判断する力を持つ子ども
- 自分で目標に向かって、努力を続ける子ども
- ちがいを認め合い、相手の立場を尊重し、仲間とつながりあえる子ども

体育館のエアコン工事が始まっています



5月から体育館のエアコン工事が始まりました。今までは体育館の外側の工事・ガスを引き込む工事を中心でした。今日から4週間は体育館の使用制限がかかっています。学校の授業等では半面ずつの使用になります。(地域の開放団体については教育委員会からの連絡どおりです。)

ご不便をおかけしますがよろしくお願ひします。順調にいけば10月からエアコンが使えるようになります。運動会の練習が快適にできるようになりそうですね。楽しみです。

運営委員会のあいさつ運動「おはようございます!」



5月19日～23日の週、運営委員によるあいさつ運動がありました。毎日カラフルなスーツや手袋をして門のところに立ち、「おはようございます!」と笑顔であいさつをしています。声をかけられた子どもたちも嬉しそうに挨拶を返していました。北緑丘小学校の子どもたちは地域の方々からも「しっかりあいさつができるようになった」とお褒めの言葉をいただいています。

今年の運営委員会の目標は「堂々と自分らしさを伝えあおう」です。これからの運営委員会がどんな活動をするのか、期待したいと思います。

豊中警察スクールサポーターによる安全指導



豊中警察にはスクールサポーターという方が、各小中学校を回りながら登校や生活安全の指導をしています。本校にもだいたい月に1回登校時に来て安全見まもり活動をしています。本校の担当は吉田さんです。5月26日、吉田さんが来て1年生に安全指導をしていただきました。1人に1つしかない大切な生命。その生命を守るためには・・・

不審者に遭わないようにするために、また声をかけられたときはの対処法など家に帰ってから遊びに行くときの注意点や約束を教えてもらいました。

学校教育目標について①



今年度も引き続き第十四中校区では「小中連携」をすすめていくこととなりました。北緑丘小学校では昨年度校区で話し合っつくった「めざす子ども像、15歳の姿」に繋げていくべく、「小学校と中学校の切れ目のない学び」をめざしていきたいと考えています。本校の学校教育目標「自ら考え、行動し、挑む力を育成する ～つながる学校～」も校区の「めざす子ども像」にしっかりつな

がるものと考えています。

今月お話しするのは、本校の教科教育の研究についてです。今年も算数科を教科研究の中心とし、研究テーマを「ねばり強く考え、表現する子どもを育てる ～文章題指導の工夫を通して～」のように設定しました。今年の焦点は「文章題」です。(次項に続く)



昨年度の「全国学力学習状況調査」の本校の結果では、概ねよいものですが、どちらかというと文章題（特に一度に2つのことを聞かれるもの）については若干苦手という結果が出ています。また、この結果を受けて4月に2～6年生に文章題のチャレンジテストを行いました。これらの結果から本校の児童の課題が見えてきました。

①文章題を考えるときに図やことばなどでまとめられない

テストの余白に図や計算を書くスペースをつくり、わかりやすくしてみたのですが、答えを間違っただどものほとんどがこのスペースを使わず計算をしていました。

具体的な絵をかいてみたり、テープ図、線分図を用いて解いてみたりして考えることを「見通し」を持つといいます。

誤答をしている子どもたちは見通しを持つとせず、間違っただけの式を書いているパターンが多いです。いかに「見通し」を持たせられるかが課題です。



②答えの見通しを持っていない。

「AとBでは**どちらの方がどれだけ多い**ですか？」と聞かれているのにA+Bの答えを書いてしまうことがありました。出てきた答えを見て「あれ、おかしいぞ？」と気づくことができないのです。「答えは大体90ぐらいになりそうだ」のように答えの見通しを持つことも大切です。

これら2つの「見通し」を持たせるためには、いかに今まで学習してきたことを思い出し、「より効率的な解き方をするには？」ということをしつくり取り組む必要があると考えています。

来月では本校のもう一つの研究の柱である「人権教育」について書きたいと思っています。

